

第22回（平成30年度第2回）久留米市セーフコミュニティ自殺予防対策委員会 議事録

件名	第22回自殺予防対策委員会	
日時	平成31年3月26日（火）15時00分～16時30分	
場所	久留米市保健所待合室兼会議室	
出席者	委員	内村委員長、大治副委員長、別府委員、中島委員、俣野委員、村田委員、田尻委員、高田委員、田中委員、川口委員、藤島委員
	事務局	野口主査、秋山主査、岡主査、山口、江原主幹、末安、堤
欠席者	江頭委員	
傍聴者	なし	
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度活動実績と平成31年度活動方針（案）について (2) 広報啓発について 3. その他 4. 閉会 	
質疑	<p>【開会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より開会 ・傍聴者の確認「なし」 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度活動実績と平成31年度活動方針（案）について 	
委員長	生活自立支援センター新規の受付数が、全国9位ということなのか。前年と比べてどうか。理由は。	
委員①	常に高水準で推移しています。福岡県では1番。九州では2番です。任意事業で、就労支援や住居確保等の事業をフルスペックで行っておりますので多いと考えております。	
委員長	総括票の数値に表せない成果というものについて、かかりつけ医と精神科医の連携数やゲートキーパー研修者数等は数で表せると思います。数で表せる方が明確ではないか。	
事務局	個票には挙げています。	
委員長	こころの相談カフェについて、自殺が多い50代の働き盛り世代の対策としてされていますがいかがですか。	

副委員長	百貨店は閉まってしまうのですか。
事務局	新館閉鎖に伴い、百貨店で実施できなくなったので、みんくるで実施する予定にしています。
副委員長	みんくるには、買い物ができるのですか。 生鮮食品もあるのですかね。
事務局	図書館、スーパー、ドラッグストア、レストラン、カラオケ等が入っています。 生鮮食品もあります。駐車場もあります。 みんくるでは、これまで百貨店で開催していた時間と1時間ずらしまして、14時から17時までどうかと考えています。パートの方が、時間がズレていた方が利用しやすいと意見がありました。また図書館が、19時までしか利用ができませんでしたので、図書館では、仕事帰りの男性の利用が、突然のキャンセルとなり、難しい状況でしたので、みんくるは、21時まで使用できますので、遅い時間で試みることができるかなと思います。
委員長	17時から19時半は早く閉まりすぎていますね。それを21時まで。 19時まで行けばいいということですね。
事務局	予約はあっても、当日キャンセルになりまして、勿体ないということもありました。また、29年度は、図書館で窓口を開設したとのことで、新聞等にも取上げられ、男性の利用者が少し多く、岩田屋は、男女比が8対2で女性が多い、図書館で開始した年は6対4で男性の割合が多かったのですが、30年度になり、男性の割合が減って、女性の割合が多くなってきていますので、どのように男性をキャッチするかというところは課題と考えています。
副委員長	なかなか難しいかもしれません。男性からすると、食料品には行くが、それ以外の階のデパートには行かないです。食料品は、親父のような客が買いに来ると思います。女性の売り場には行きにくい。やはり、男性は、本屋と食料品売り場は行くのではないかと思います。
委員②	セーフコミュニティの再認証の際は、ホームセンター等と言われていましたが、日本の中高年の方はどこに行かれるのでしょうか。
委員③	予約制ですか。待合室などでばったり会うこともないのですね。
事務局	ありません。

委員③	ゆめタウンなどは、たくさん中高年の方もおられるのではないのでしょうか。
副委員長	他のイベントの際に、ゆめタウンで啓発活動をしたことがありますが、中高年の男性も多く、西鉄久留米で活動した時よりも、グッズがなくなるのが早かったように思います。エレベーターの前、本屋に行く男性が来ていました。
委員③	地元ですから、話しを持っていくことはできますよ。
委員長	駐車場が広くていいのではないですか。一階を散歩している人も多いようです。
委員④	失業中の方も、昼間に行かれると聞きます。家にも居られないし、冷暖房もあるのでもいいと思います。
事務局	色々なところから、相談できる場があるといいなというご意見もいただいておりますので、試しながらすすめていけたらと思っております。チラシを設置するという方法などもあるかと思えます。いただいたご意見も参考にしながらすすめていきたいと思えます。
	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報啓発について
事務局	次年度に向けて、現在は職域向けチラシ、高齢者向けのカードの作成をすすめているところです。
統括事務局	ゲートキーパーの認知度が低いので、その取組みを検討してみてもどうかと思っております。
委員長	ゲートキーパーの認定証などがあればいいのではないですか。
副委員長	認知症サポーターはオレンジのブレスレットが好評ですね。
事務局	予算の関係がありますので、グッズの作成はしていません。 確かに、ゲートキーパーの役割なども記載したものは配布できるかと考えます。一人でも多くのゲートキーパーをと考えておりますので、プログラムの時間も短い場合と長い場合がありますので、ショートコースやロングコース等と記載して配布する方法もあるかと思えます。検討します。
副委員長	地域包括が草の根のようにしているのは強いですね。

<p>委員長</p>	<p>自殺対策に地域包括も入ってもらってはどうか。</p> <p>自殺は高齢者が多いですね。認知症の方の自殺も多いですが、介護疲れでの自殺もすごく多いので。それを絡めると、認知症の方やそのケアをする方の自殺はつきものになります。高齢者の自殺、80歳以上の男性も多いですね。女性の場合も多いですね。自殺対策と、高齢者、認知症、虐待というので連携をとることはすごく大事なことです。住みやすい街くるめをつくっていくために。</p>
<p>事務局</p>	<p>自殺対策計画の委員には、入っていただいています。</p> <p>セーフコミュニティ自殺予防対策委員会の任期は7月までとなっておりますので、メンバーの方の選出についても、また相談させていただきたいと考えております。</p> <p>【報告事項】 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送データについて ・今年度のスケジュールについて <p>【救急搬送データについて】</p>
<p>委員長</p>	<p>自殺未遂の方と既遂の方で、違いがある。既遂者は、未遂歴が少なく、確実に死に至る方法を選んでいる。一方、未遂者は、過去3年間でみても、未遂歴があり繰り返している傾向がみられています。</p> <p>精神科に繋がっていないのも、既遂者は一つの特徴です。</p> <p>覚悟を決めて死のうとしている人の様子に気づいてあげることが重要で、注意サインに気づく。ゲートキーパー、身近な人の役割は大きく、気づいたら、減らせる可能性があるのではないかと。保健所やかかりつけ医を通してもいいので、精神科にかかってもらうと、確実に自殺を止められるかどうかは別問題であるが、少しは防げる可能性があるのではないかと。その中では、かかりつけ医と精神科医の連携が大きく関わってくるんじゃないかということが言えると思います。</p> <p>本人が覚悟を決めていても、生きたい・死にたくないという思いもある訳で、それを誰に相談していいかわからない、ということで、相談する場所として、カフェ等に寄ってもらって、少しでも思いとどまってもらえる人もいるんじゃないですか。久留米市の対策は、既遂者を減らすことに役立つのではないかと。</p> <p>いかに気づいて繋いでもらうか。</p> <p>もちろん未遂者も死んでしまうこともある。未遂者を繰り返さないようにすることも大事である。</p> <p>相談してみようかなという場所づくりがすごく大事じゃないかなと思います。</p> <p>平成24年からは、既遂者の数は、半減はしている。色々な対策がなされていることだと思います。様々な相談支援や連携システムがより効率的・有用に広がっていく工夫が大事ではないかなという気がしています。</p>

副委員長	<p>色々な問題点を把握して、ターゲットを絞って少しずつ行っていくことはすごく大事なだと思います。相談カフェをどこに持って行くかも大事。</p> <p>自殺される場所は自宅が多いのか。家族が気づかないというのは問題かなと思います。家族に悟られないようにしているとも考えられるが、男性本人を啓発するよりも、家庭で、例えば主婦等に、夫は眠っているかなど聞いていってもいいと思います。</p>
委員長	<p>圧倒的に男性が多い。家庭でも孤立している可能性もあるので、そういう方が話せる場所としてカフェ等は意味がある。</p> <p>女性は、ネットワークを持っているので。男性は、職場で周りはライバルで話せない。</p>
委員④	<p>「こころの相談カフェ」という名称は、男性は入りやすいのでしょうか。男性も入っていいという名称であればいいですが。</p>
副委員長	<p>認知症カフェも女性が多いです。</p>
委員長	<p>10歳から14歳の死亡の原因の一位が、ガンを抜いて自殺になった。小学校から中学生の自殺が増えたということで、この対策をどうしていくかということが新聞でも取上げられている。</p> <p>これも問題で、対策が今後大事になってくると思います。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>
総括事務局	<p>【今年度のスケジュールについて】</p> <p>平成31年度は、7月で3年間の任期が終わります。</p> <p>以降、新たな委員さん方をお願いします。7月以降に、2回程度対策委員を開催します。セーフコミュニティフェスタは10月を予定しています。</p> <p>平成30年度は、基本的な5年間の方針を検討していただきたい。</p> <p>平成32年度は、セーフコミュニティの実態調査。平成33年度は、データを踏まえての見直し。再々認証を受けるかどうかを検討していく流れで考えています。</p> <p>【閉会】</p>